

# 食の安全・安心を伝えるしくみづくり

## 活動のきっかけ

学生をはじめとする若い世代は、近い将来、自立した食生活（＝食べるものを自分で選ぶ生活）を送ることが想定されます。そのため三重県庁農産物安全課は、学生に食の安全・安心について知っていただき、普段の食生活に役立ててほしいと考えていました。

そこで、県が食の安全・安心に関する情報を学生に伝える方法について、県職員と一緒に考えてくれる学生を募集したところ、三重大学、鈴鹿短期大学、皇學館大学の学生16人が応募してくれました。

## 募集チラシ (表面)

三重県農林水産部農産物安全課

**学生に「食の安全・安心」情報を伝えるには**

農薬、食品添加物、遺伝子組み換え食品、放射性物質、食物アレルギー、食品中の有害物質、食品製造施設の衛生管理、BSE、鳥インフルエンザ、食中毒、食のロウ

① 三重県食の安全・安心ひろば、マヨネーズの保存方法、無添加、新米表示、カロリーや成分

② 配布？あまり興味のない人に伝えるには？多分学生と県職員の感覚には違いがある、他に方

③

学生の皆さんへお願い

- ・あなたやお友達や後輩にとって  
どんな情報が役立つか
- ・その情報はどうやったら伝わるか

県職員と一緒に考えてください！

詳しくは裏面をご覧ください

## 検討会の開催

特定非営利活動法人津市NPOサポートセンターの川北輝さんにコーディネーターをお願いし、検討会を5回開催しました。検討会には毎回学生4～9人と県職員3～5人が参加し、学生が興味を持っていることに食の安全・安心を結びつけて伝える方法などについてアイデアを出し合いました。



## しおりの作成

たくさんのアイデアの中に、本に挟むしおりに情報を載せるという案があり、まずはこの「しおりづくり」を実際にやってみることにしました。

しおりに載せる内容の原案は県が用意しました。それを親しみやすく分かりやすい文章に書き換えたり、イラストを入れたりして「食の安全・安心しおり」を10種類デザインしました。

以下は一例です。

### 県が用意した原案

#### ◎ペットボトルを飲むときの注意

口をつけて飲んだ飲み物には、口の中の菌が入ります。時間がたつと、菌が増えて不衛生になります。


- 開けたら早めに飲みきりましょう。
- コップについて飲みましょう。



## しおりのデザイン

食の安全・安心  
しおりシリーズ⑤

学×三  
生重県



ペットボトル  
口を付けたら飲みきって  
コップに注いでも  
素敵でしよう？

三重県食の安全・安心ひろば  
[http://www.pref.mie.lg.jp/S\\_HOKUA/HP/](http://www.pref.mie.lg.jp/S_HOKUA/HP/)

しおり表面

フタを閉めればいいでしょ？  
一日くらいなら大丈夫よ。  
そう思っていないませんか？  
口を付けて飲むと、口内の菌がペットボトルの中で  
増えてしまいます。コップに注ぐと、見た目が  
オシャレになりますし、ペットボトル内に菌が入りづら  
いです。  
そのまま飲む場合は、早めに飲みきりましょう。

作：三重愛 飛鳥

このしおりは、学生に食の安全・安心情報を伝えるため、三重県と学生が作りしました。

しおり裏面

### これから

完成したしおりは各大学の図書館に置いていただくなどして、学生に利用していただく予定です。

また、しおりの他にも多くのアイデアをいただいたので、県庁農産物安全課で、ひとつひとつ検討していきます。

三重県農林水産部 農産物安全課 食の安全・安心班

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

電話：059-224-3154 / ファックス：059-223-1120 / e-mail: shokua@pref.mie.jp

